

ごあいさつ

経営理念「信頼の経営」のもと 社会の発展に貢献します

2016年6月28日より、山陽特殊製鋼株式会社の代表取締役社長に就任しました。

当社は、経営理念である「信頼の経営」を基軸として、事業活動を行ってきました。誠実・公正・透明な企業経営を推進するとともに、経済的使命・社会的使命を果たすことで、「社会からの信頼」「お客様からの信頼」「人と人との信頼」という3つの信頼を確立することが、当社の考えるCSRの基本です。ステークホルダーの皆様へ信頼に足る企業と認識していただき、社会との持続的関係を構築し、その発展に貢献できるよう、「信頼の経営」の実践をしっかりと引き継いでいきます。

なかでも、ものづくり企業である当社にとって、従業員の「安全と健康」は事業経営の大前提です。全ての従業員が毎日安心して働き、元気に家庭へ帰っていくことができる職場づくりに、これからも継続して取り組みます。

第9次中期経営計画の重点施策が 大きく進展した1年 今後も取り組みを進めていきます

2015年度は、新興国経済の減速や金融資本市場の変動等による先行き不透明な状況下、主要需要業界における生産減や在庫調整等により当社グループの需要は前年に比べ低い水準で推移しましたが、原燃料価格の低下やコストダウンの実施などにより収益改善が進むとともに、第9次中期経営計画の施策が大きく進展した1年でありました。

鋼材事業では競争力強化に向けた取り組みが大きな成果を上げ、素形材事業に関しては、タイに設立したSSSP (Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.) が2015年12月から商業生産を開始するとともに、2015年11月にメキシコにおいて素形材製品の製造・販売を行うSMM (Sanyo Special Steel Manufacturing de México, S.A. de C.V.) を設立しました。SMMは2017年度の稼働開始を予定しており、これにより、素形材事業の世界6極体制が整うこととなります。また、特殊材事業においては、金属粉末の市場拡大と高度化する

第9次中期経営計画 (2014年度～2016年度)

■ 経営基本方針

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による 企業価値の増大と成長を目指して

- ◇ グローバル競争に打ち勝つための企業体質の更なる強化
- ◇ 技術先進性の拡大
- ◇ 鋼材事業の持続的成長と非鋼材事業の強化によるトータル収益力の向上

国際コスト競争力及び研究開発力・品質対応力・納期対応力・システム基盤等の非価格競争力を強化することで、グローバル競争に打ち勝てる企業体質の構築を図る。これにより、鋼材事業では、拡大が予想される特殊鋼需要を確実に捕捉し、第7次・第8次中期経営計画で整備した設備能力を活かして事業収益を増大する。また、非鋼材事業には積極的に経営資源を投入し、業容拡大することで、グループトータルの収益力強化を図る。

さらに、あらゆる経済環境下でも最善の収益を確保し得る、上下方とも弾力性のある、強靱な企業体質の構築を目指す。

■ 重点施策

- 1) 成長戦略の推進
- 2) グローバル競争力の強化
- 3) 持続的成長を実現するための人材育成
- 4) 投資

ニーズへの対応に向けて、2016年3月に第二粉末工場の建設に着手しました。第二粉末工場は2017年度上期の稼働開始を予定しており、高純度真空溶解ガスアトマイザー2基に加えて、最新鋭のディスクアトマイザーも導入し、成長市場における需要の捕捉と新市場の創生に取り組んでまいります。

今後も当社が持続的に成長していくために、人と技術の成長は欠くことのできない原動力です。技術の成長とは、“より良いものを競争力のある価格でお客様の望むタイミングに届けられる”ことであり、他社の追随を許さない差別化技術などの非価格競争力とコスト競争力の両方を磨くことが肝要です。当社が開発した「QDX-HARMOTEX」が、2016年1月にNADCA（北米ダイカスト協会）から高強度グレードダイカスト金型用鋼と認定されたことは、当社が技術先進性の拡大に注力してきたひとつの成果であるといえます。また、従来から取り組んできたTPM活動や設備改良、コスト削減活動、納期順守活動、安全衛生活動ならびに新技術や新商品の開発にも、これまで以上に力を入れていきます。

人の成長に関しては、2015年4月に「技能伝承グループ」を新設し、“現場力”の維持・向上に向けた技能伝承活動を推進しています。加えて、海外留学や海外語学研修などを通じたグローバル人材の育成や、女性活躍推進法に基づく女性従業員のキャリアアップを支援する行動計画の策定など、企業を支える従業員がその能力を発揮し伸ばしていく人材育成と職場環境づくりにも、引き続き取り組んでまいります。

環境負荷低減に貢献する製品開発、設備導入に注力しました

当社は、事業活動の全ての段階において環境の保全に配慮し、循環型社会の構築に貢献することを「環境方針」に掲げています。

ニッケルやモリブデンなどのレアメタルを使わずに高強度化を実現した省希少資源型高強度肌焼鋼「ECOMAX」シリーズのような、環境負荷低減に貢献する製品の提供・開発に従来から注力しています。また、不要な照明の消灯、空調の温度設定など執務場所での節電活動はもとより、製品を製造する設備でも環境に配慮し、重油から都市ガス（天然ガス）への燃料転換や省エネルギーにも継続して取り組んでいます。排熱を再利用して燃焼用空気を予熱することで、大幅な省エネルギー

ギー効果が期待できるリジェネバーナー化を進めているほか、モーターのインバーター化や照明のLED化も進めています。

人と技術の成長を通じて、さらに「信頼」を高めていきます

新興国経済の減速懸念、円高・株安の進行や英国の欧州連合（EU）からの離脱決定による影響への懸念、特殊鋼業界における国際競争の激化などもあり、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き楽観を許さない状況が続くと考えられます。

どのような事業環境下であっても、ステークホルダーの皆様の期待に応え、社会の発展に貢献できる企業であり続けるために「信頼の経営」の理念に基づき企業活動を展開してまいります。2016年度は第9次中期経営計画の総仕上げと、次なる成長戦略第10次中期経営計画の策定に取り組めます。その実行を通じて、環境変化に対応しつつ、「高信頼性鋼の山陽」のブランド力を強化し、人、技術、そして企業が成長し続けることが、皆様の当社に対する信頼を高めることにつながると確信しています。

本報告書を通じて、私たちの活動内容をご理解いただき、一層のご支援とご助力を賜りますよう、お願い申し上げます。

山陽特殊製鋼株式会社
代表取締役社長

樋口 眞哉

